

科目名		授業形態	担当教員名	
人間関係論		講義・演習	富本 隆江	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（2 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
医療従事者は様々な背景をもつ他者と関わり、人間関係を適切に構築する必要がある。そのためには、まず自分のことを良く知る必要がある（自分の価値観、コミュニケーションの傾向等）。そして、人の多様性を理解し、思いやりの心や他者を尊重する気持ちを持ってコミュニケーションを行うことが重要である。本科目では、コミュニケーションに関する基本的知識と態度を身につけ、協力的に人と関わる体験を通してコミュニケーションの意義と重要性を学ぶことを目的とする。				
授業の到達目標				
1. コミュニケーションの意義と重要性を説明できる。 2. コミュニケーションの方法と技能を説明できる。 3. 相手に関心をもって人の話を聞くことができる。 4. 話し手聞き手の役割りに基づいて適切なコミュニケーションスキルが活用できる。 5. コミュニケーションにより良好な人間関係を築き、このスキルを活用しチームの一員として責任を果たせる。				
授業計画				
回	内容			
1	コミュニケーションの基本 ～良いコミュニケーションとは？専門職のコミュニケーションとは？～			
2	傾聴について ～相手に関心をもって話を聴くとは・傾聴を支える技術～			
3	自分を知る ① ～自己覚知の重要性・交流分析等～			
4	自分を知る ② ～自己覚知の重要性・交流分析等～			
5	多様性を受け入れるために ①			
6	多様性を受け入れるために ②			
7	良いコミュニケーションの為に ① ～表現の仕方等～			
8	良いコミュニケーションの為に ② ～ストレス理解とストレスマネジメント～			
9	良いコミュニケーションの為に ③ ～患者さんの気持ちを感じるために～			
10	信頼関係を構築するためのコミュニケーション ①			
11	信頼関係を構築するためのコミュニケーション ②			
12	感情、怒りのコントロールと適切な表現			
13	チーム・アプローチ ① チームビルディング等			
14	医療におけるコミュニケーション（患者、家族、多職種）～お互いを尊重するとは～			
15	人間関係論の総括 まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	60%	人間関係論についての理解		
レポート	20%	課題に関しては1回目授業にて。		
小テスト				
平常点	20%	授業の演習で体験したこと等の感想提出含むので、できるだけ欠席のないようにする。		
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
特に指定しない				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
コミュニケーション論・多職種連携論	内山靖 他編		医歯薬出版株式会社	
自由記載				
備考				
講義配布資料をもとに実施				